

事業所名

わくわくハウス スポーツ未来校

支援プログラム

作成日 2026 年 3 月 14 日

法人(事業所)理念		子どもたちが体を動かす楽しさを知り、心も身体も健やかに育つ場を提供します。運動を通じて「自分を好きになる力」「仲間と関わる力」を育み、将来の社会参加につなげます。		
支援方針		運動療育を通じて、子どもたち一人ひとりの発達段階に応じた支援を行い、身体・心・社会性のバランスある成長を目指します。楽しく取り組めるプログラムで、成功体験を積み重ねながら、自己肯定感と自立心を育てます。保護者や地域との連携を大切に、継続的な支援を行います。		
営業時間		9 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	毎回の運動前後に体調確認と水分補給、衛生習慣の定着支援 運動を通して体力づくりと生活リズムの安定を図る 衣類の着脱・整理整頓など、生活動作の自立を促す支援		
	運動・感覚	基本動作(走る・跳ぶ・投げる・バランスなど)の発達支援 感覚統合アプローチに基づいた活動(触覚・前庭覚・固有受容覚の刺激) 運動が苦手な子どもにも配慮した、楽しく参加できる運動療育プログラム		
	認知・行動	スポーツ活動中のルール理解や自己コントロールの支援 集中力や注意力を育てるゲーム形式の活動を取り入れた支援 運動の中での「考えて動く」体験を通じて思考力・判断力を育成		
	言語・コミュニケーション	チームでの活動を通じた指示理解・やり取りの練習 言語的なやりとりが難しい児童には視覚的な支援を活用 感情の表現や仲間との協力を言語で伝える練習		
	人間関係・社会性	協力ゲームや道具の貸し借りを通じた協調性の育成 挨拶・順番・ルールなどの基本的な社会スキルの習得 成功体験や仲間との関わりを通じた自己肯定感の向上支援		
家族支援		運動能力や生活面での成長を日々記録し、共有 家庭での過ごし方や運動の取り入れ方についてのアドバイス 保護者との定期的な面談や連絡帳での双方向コミュニケーション	移行支援	運動を通じて社会性や集団適応力を育み、就学・進級への準備を支援 小学校や他の支援機関と連携し、スムーズな環境移行をサポート 体を使った学びを通じた自己理解・自己調整力の育成
地域支援・地域連携		地域のスポーツ施設・公共施設との連携による外出支援 学校・医療機関・相談支援事業所との情報共有と連携強化 地域イベントへの参加や地域住民とのふれあいを通じた社会参加支援	職員の質の向上	運動療育に関する専門的な研修の受講(感覚統合、発達運動学など) 定期的なケース会議とチーム内での振り返り共有 子ども一人ひとりの特性に応じた柔軟な支援技術の習得と実践
主な行事等		季節ごとのスポーツイベント(運動会・ミニオリンピック・外遊び遠足など) 身体と感覚を使った制作・クッキング・音楽療法など多彩なプログラム 保護者参加型のスポーツチャレンジデーや親子交流イベント		